

関西医療大学 保健医療学部 理学療法学科 カリキュラム・マトリクス

本学では、4年間の授業科目全体を「総合教育科目（一般教養を幅広く学ぶ科目）」と「専門教育科目（目指す医療資格を専門的に学ぶ科目）」に分けて、それぞれを「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」に基づいて体系的に配当したカリキュラムのもとで教育を行っています。

また、本学の各学部・学科では、本学が掲げる「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に基づき、学生が卒業するまでの学びの過程で身につけることを求める8つのコンピテンシー（行動特性、能力）を定めています。学生は、1つ1つの授業科目を年次ごとに履修しながら対応するコンピテンシーの修得を積み重ねていきます。そして、社会の中で本学のディプロマ・ポリシーに相応しい人間性と学修成果を身につけた“社会に役立つ道に生きぬく”医療人として活躍することを目指します。

理学療法学科が学生に求める8つのコンピテンシー

① 人間力	幅広い教養と深い感性を身につけて行動することができる
② 倫理に基づく行動力	医療人として高い倫理観に価値を置いて行動することができる
③ コミュニケーション能力	他者の意見を理解し、それに対する自らの意見を明確に伝えることができる
④ 協調する力	目的を果たすために社会のなかで多様な人々と協調することができる
⑤ 専門知識	医学、理学療法学に関する体系化された高度な知識を駆使できる
⑥ 専門技術	理学療法士として有すべき高度な技術を駆使し実践できる
⑦ 臨床推論力	深い専門知識に基づき、臨床現場の問題解決のために推論することができる
⑧ 科学的思考力	必要な情報・データを収集し、科学的かつ論理的に思考できる

大学・学科のディプロマ・ポリシーとコンピテンシーの対応

大学・学科のディプロマ・ポリシー		8つのコンピテンシー							
		①人間力	②倫理に基づく行動力	③コミュニケーション能力	④協調する力	⑤専門知識	⑥専門技術	⑦臨床推論力	⑧科学的思考力
大学	1. 医療人として、豊かで深い教養と倫理観を身につけている	●	●						
	2. 保健医療の各分野で求められる専門的な知識をもち、医療技術を実践できる					●	●		
	3. 新たな課題を科学的・論理的に探究して解決できる知性を身につけている							●	●
	4. チーム医療の一員として、自らの責任と役割を理解して行動できる			●	●				
学科	1. 多様な人々とコミュニケーションを図り、幅広い視野から物事をとらえることができる	●		●	●				
	2. 思いやりと豊かな人間性をもって障がいを抱える方に寄り添うことができる	●	●	●					
	3. 理学療法士として保健・医療・福祉の分野で活躍できる					●	●	●	
	4. 科学的な視点をもって理学療法学を探究できる		●			●			●

理学療法学科のカリキュラム配当科目とコンピテンシーの対応

(※対応する上位2つのコンピテンシー番号を記載)

区分	1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
総合教育科目	①③ 大学入門セミナー	①⑧ 生命のしくみ	①③ 英語表現Ⅲ	①③ 英語表現Ⅳ				
	①⑧ 科学の基礎	⑤⑧ 統計学の基礎		①③ 医療英語				
	①⑧ 生命の化学	①⑧ 情報科学Ⅱ						
	①⑧ 物質と自然のしくみ	①② 生命倫理						
	①⑧ 情報科学Ⅰ	③④ 生涯スポーツⅡ						
	①② 日本国憲法(法の基礎知識)	①④ 社会学						
	①② 心理学	②④ 社会福祉論						
	①④ スポーツと健康	①③ 英語表現Ⅱ						
	③④ 生涯スポーツⅠ	③⑥ 手話						
	①② 教育学							
	①③ 英語表現Ⅰ							
	①③ 国語表現Ⅰ							
	③④ コミュニケーション学							
	専門教育科目	⑤⑦ 人体の構造Ⅰ	⑤⑦ 人体の構造Ⅱ	⑤⑦ 基礎運動学Ⅱ	⑤⑦ 衛生・公衆衛生学Ⅱ	⑤⑦ 臨床内科学各論	⑤⑥ 神経筋疾患理学療法Ⅱ	⑥⑦ 理学療法臨床実習Ⅰ
⑤⑦ 人体の機能Ⅰ		⑤⑦ 人体の構造演習	⑤⑦ 基礎運動学演習	⑤⑦ 病因・病態学Ⅱ	⑤⑦ 臨床外科学各論	⑤⑥ 小児疾患理学療法Ⅱ	⑥⑦ 理学療法臨床実習Ⅱ	⑤⑦ 地域理学療法各論
⑤⑦ 人間発達学		⑤⑦ 人体の機能Ⅱ	⑤⑦ 衛生・公衆衛生学Ⅰ	⑤⑦ 臨床疾患学(外科)	⑤⑦ 画像解析学概論	⑤⑦ 総合理学療法学		⑤⑦ 東洋医学概論
②⑤ 医学概論		⑤⑦ 人体の機能演習	⑤⑦ 病因・病態学Ⅰ	⑤⑦ 臨床内科学各論	⑤⑥ 障がいとスポーツ	⑤⑦ 地域理学療法総論		⑤⑦ 東洋医学と理学療法特論
②⑤ 臨床心理学概論		⑤⑦ 基礎運動学Ⅰ	⑤⑦ 臨床疾患学(内科)	⑤⑦ 加齢医学	⑤⑦ 免疫学	⑥⑦ 理学療法評価実習		⑥⑦ 神経難病理学療法特論
④⑤ リハビリテーション概論		④⑤ 保健医療福祉概論	⑤⑦ 整形外科学	⑤⑥ 運動療法概論演習	⑤⑧ 医療統計	③④ キャリア形成セミナー		⑥⑦ 精神疾患理学療法特論
⑤⑥ 理学療法概論		⑤⑦ 評価学総論	⑤⑦ 神経内科学	⑤⑦ 動作分析学	⑤⑦ 評価学演習Ⅲ			⑥⑧ スポート理学療法特論
		⑤⑥ 理学療法導入セミナー	⑤⑦ 精神医学	④⑤ 感染管理学	⑤⑥ 骨関節疾患理学療法Ⅱ			⑦⑧ 理学療法研究法
			⑤⑦ 薬理学の基礎	④⑤ 安全管理学	⑤⑥ 脳血管障害理学療法Ⅱ			
			⑤⑦ 栄養学の基礎	⑤⑥ 評価学演習Ⅱ	⑤⑥ 神経筋疾患理学療法Ⅰ			
			⑤⑥ 運動療法概論	⑤⑥ 骨関節疾患理学療法Ⅰ	⑤⑥ 小児疾患理学療法Ⅰ			
			⑤⑦ 日常生活活動学	⑤⑥ 脳血管障害理学療法Ⅰ	⑤⑥ 骨髄損傷理学療法学			
			⑤⑥ 評価学演習Ⅰ	⑤⑦ 義肢装具学	⑤⑥ 老人理学療法学			
			⑤⑦ 検査測定学	⑤⑦ 物理療法学	⑤⑥ 内部障害理学療法学			
				①⑤ 国際リハビリテーション学	⑤⑥ 義肢装具学演習			
					⑤⑥ 物理療法学演習			